

科目名		実用英語Ⅱ			英文表記	Practical English II		23/02/2015			
科目コード		6002									
教員名:角田キャティ 名嘉山リサ 星野恵里子								作成			
技術職員名:N/A											
対象学科／専攻コース					学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科					専2	必	学修	2単位	演習	前期	
科目目標		本科5年間と専攻科1年間で身に着けた基礎力を基に、実践で役立つような英語運用能力を養成する。									
総合評価		学年末評価は、TOEIC・IPまたは公開テストの得点30%+小テスト30%+プレゼンテーション30%+読書記録手帳10%で換算し、60%以上を合格とする。									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)		達成度目標の評価方法		ルーブリック						
					理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		最低限必要な到達レベル		セルフチェック
	① 語彙・文法・読解力を身に着けることができる。 TOEIC [®] に対応できる。 (機械C-5 情報C-1 メディアC-3 生物C-2)		小テスト・外部評価試験(TOEIC・IPまたは公開テスト)で評価する。		TOEICの換算点で9割以上とれる。小テストで範囲を問わず、単語が理解できる。		TOEICの換算点で7～8割とれる。小テストの範囲内の単語が理解できる。		TOEICの換算点で6割程度とれる。小テストの範囲内の単語が部分的に理解できる。		
	② 身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。毎分120語程度の速度で約2分間の口頭説明や質疑応答ができる。またその内容を聞いて理解できる。 (機械C-5 情報C-1 メディアC-3 生物C-2)		プレゼンテーションで評価する。		身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語以上で論理的で正確な文章を書くことができる。毎分120語以上の速度で2分以上の口頭説明や質疑応答ができる。また、その内容を十分に理解できる。		身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度で簡単な文章を書くことができる。毎分120語程度の速度で約2分間の口頭説明や質疑応答ができる。またその概要を理解できる。		身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語未満の簡単な文章を断片的に書くことができる。毎分120語未満の速度で2分間に満たない口頭説明や質疑応答が時折でき、その概要は断片的に理解できる。		
	③ 毎分120語程度の速度で物語文や説明文を読み、その概要を把握できる。 (機械C-5 情報C-1 メディアC-3 生物C-2)		読書記録手帳で評価する。		毎分120語以上の速度で物語文や説明文を読み、その内容を十分に把握できる。		毎分120語程度の速度で物語文や説明文を読み、その概要を把握できる。		毎分120語未満の速度で物語文や説明文を読み、その概要を断片的に理解できる。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学	
	◎				JABEEプログラム教育目標		C-5	C-1	C-3	C-2	
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価		セルフチェック		
評価項目			0	30	0	70	100				
基礎的理解		①③		20		10	30				
応用力(実践・専門・融合)		②				10	10				
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		②				30	30				
主体的・継続的学修意欲		①③		10		20	30				

授業概要、 方針、履修 上の注意	・幅広いトピックの英文を読む力をつける。 ・単語テストを実施し、語彙力をつける。 ・英語を聴いて理解する能力を高め、英語による表現力を養成する。 ・週に5000語以上(半期で75000語以上)の多読を行い、学期末に読書記録手帳を提出すること。 ・2013年8月以降のTOEIC IPテストあるいは公開テストを受験し、スコアが上がった場合は、そのスコアレポートを提出し、申告すれば学期末に成績の書き換えを行います。
教科書・ 教材	・「速読速聴・英単語 Core 1900 ver.4」(Z会出版) ・躍進する企業―時代を見抜くビジネスの先鋒(松柏社) ・TOEIC公式問題集 Vol 1～5 (TOEIC運営委員会)(参) ・TOEIC公式問題で学ぶボキャブラリー(参)

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	オーラルコミュニケーション (角田)	4	シラバスを用いて授業の概要説明 リスニング、会話、プレゼンテーションなどを行い、自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができるようにし、毎分120語程度の速度で約2分間の口頭説明や質疑応答ができるようにする。またその内容を聴いて理解できるようにする。	プレゼン テーション 対策	
2	オーラルコミュニケーション	4	リスニング・会話・プレゼンテーション	プレゼン	
3	オーラルコミュニケーション	4	リスニング・会話・プレゼンテーション	プレゼン	
4	オーラルコミュニケーション	4	リスニング・会話・プレゼンテーション	プレゼン	
5	オーラルコミュニケーション	4	リスニング・会話・プレゼンテーション	プレゼン	
6	英語講読(名嘉山)	4	小テスト1(ch17,18)や問題集の解説、解答により、語彙、文法、読解力を身に付け、枚分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようにし、TOEIC等の外部試験に対応できる英語力を要請する。	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
7	英語講読(名嘉山)	4	小テスト2(ch19,20)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
8	英語講読(名嘉山)	4	小テスト3(ch21,22)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
9	英語講読(名嘉山)	4	小テスト4(ch23,24)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
10	英語講読(名嘉山)	4	小テスト5(ch25,26)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
11	英語講読(星野)	4	小テスト6(ch27,28)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
12	英語講読(星野)	4	小テスト7(ch29,30)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
13	英語講読(星野)	4	小テスト8(ch31,32)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	
14	英語講読(星野)	4	小テスト9(ch33,34)、問題集の解説・解答	小テスト対 策 問題集予 復習 TOEIC等 対策	

15	英語講読(星野)	4	小テスト10(ch35,36)、問題集の解説・解答	小テスト対策 問題集予復習 TOEIC等	
期末	期末試験	[2]			
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23		2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		62	実時間	46.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	プレゼンテーション準備			各3時間×5回	
②	小テスト対策・問題集の予復習、TOEIC対策			各3時間×10回	
③	多読			各1時間×15回	
備考欄					
(共通記述)					
・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。					
(各科目個別記述)					
・ この科目の主たる関連科目は電子回路Ⅰ・Ⅱ(3年)、集積回路Ⅰ(4年)、集積回路Ⅱ(5年)					
その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分＝1、90分＝2)